映画「ＨＡＺＡＮ」制作支援

【相手先企業】
（株）桜映画社
【目　的】
陶芸家では初めて文化勲章を受章した「板谷波山」の生き方をドラマ化した映画「ＨＡＺＡＮ」が制作されました。下館出身の偉大な陶芸家ですので、県を挙げての制作協力体制が敷かれ、当所でも監督の要請により数多くの協力支援を致しました。

【内容】
主な支援内容は以下の通りです。
①撮影用小道具類制作　波山様式の作品多数
波山の素描集にある大きな壷類を磁器土で約５０点、また徳利、小皿や茶碗等の小物を相当数作り撮影に使いました。
②窯焼き中に起きた地震でどの様な傷が付くかの検証
波山の２回目の窯焼きは、火止め際に地震に見舞われ作品に小さな傷がついてしまいます。波山は全部たたき割ってしまいます。監督は実際どの様な傷なのか見たいとの要請で、窯の中で作品を倒し再現しました。
③出演者のロクロ引き技術研修
④窯焚きシーンの撮影用に穴窯の焼成
【成果】
工房のセットでは背景に沢山の小道具や製品が必要です。全面協力体制を取り撮影日に合わせて連日深夜まで波山様式の焼きもの作りにたずさわりました。また窯焼きの場面では熱き本物の炎を取りたいと言う監督の強い要請により、撮影日に合わせて薪で窯内温度１３００℃まで焼き、迫力ある火炎を上げました。
陶芸界の巨匠「ＨＡＺＡＮ」の映画化によって本県陶芸文化を全国に発信し、ついては笠間焼の振興にも大きく貢献するものと期待しています。

五十嵐監督，榎木孝明

製作した撮影作品

基礎となった事業：試験研究指導事業（技術支援及び技術相談）
担当部署：窯業指導所　工芸技術部